

「シェアリングエコノミーが創る未来～持続可能な地域・社会・働き方のデザイン～」講演会を開催

- ▶ 四国総合通信局は、四国情報通信懇談会との共催により、令和7年5月20日(火)、愛媛県松山市内の会場とオンラインによるハイブリッド形式にて、「シェアリングエコノミーが創る未来～持続可能な地域・社会・働き方のデザイン～」と題した講演会を開催しました。(現地とオンライン合わせて約180名が参加)
- ▶ 本講演会は、総務省の地域情報化アドバイザー派遣制度（ICT人材派遣制度）を活用し、一般社団法人シェアリングエコノミー協会 代表理事 石山アンジュ氏を講師に迎え、シェアリングエコノミーの「働き方・暮らし・子育て」などの多分野における社会的意義や市民がつくる新たなまちづくりのかたちについてご講演いただきました。

講演概要

- ・ 「人口減少や高齢化が進む中、地域に眠る資源やスキルを活かす“シェア”の視点が注目され、シェアリングエコノミーが創る、新たなまちづくりやビジネスチャンス、働き方やライフスタイルのトレンドを探る。」をテーマに、シェアリングエコノミーを通じて、地域や日本の社会モデルを再構築する可能性について講演。
- ・ 自身の体験や震災時の気づきをもとに、人とのつながりの重要性を実感したことが、シェアリングを始まるきっかけとなったと説明。
- ・ 全国で展開するシェアリングエコノミー協会の活動や、四国支部の取組、血縁や制度によらない「拡張家族」という新しい暮らし方の実践や多世代型シェアハウスの運営等について紹介。
- ・ 駐車場や傘、家具などのモノのシェアから、空間、スキル、時間のシェアまで、多岐にわたる具体的な活用事例を紹介。
- ・ 個人の生きがいや社会参画の機会を広げる手段としての可能性や、SDGsとの親和性、企業経営への応用についても言及し、参加者に「自分がシェアできそうなものはありますか」と問いかけるなど、ICTを活用したシェアリングについて考えるきっかけを提供。



<講師：石山アンジュ氏>



<石山氏講演の様子>

【参加者の声（アンケートより）】

- ・ 地域活性化、地域創生につながる大変興味深い取組だと思いました。
- ・ シェアリングに興味があったが、これまでよく分からなかったところが、今回の講演で理解が深まりました。
- ・ 人口減への対応として、シェアリングの活用が有効であることが実感できました。
- ・ サステナブルな社会を構築する上での一つの策として、興味深く聴講できました。
- ・ 各種シェアリングの取組とこれを利用した事業への展開事例がわかりやすく理解できました。

四国総合通信局は、今後も講演会の開催等を通じて、ICTに関する最新情報を提供する機会を作っております。

お問合せ先：情報通信部 情報通信振興課 089-936-5061